

9. 学修成果の可視化について

①「カリキュラム・マップ」について

本学では、建学の精神及び教育方針に従い、各学部・各学科において三つのポリシーを制定し、学位授与の方針を示してきました。同方針に則り、各教育課程が体系的なカリキュラム編成となっているかを示すため、「カリキュラム・マップ」を策定しています。

「カリキュラム・マップ」は学修成果の可視化の一つとして、授業科目とディプロマ・ポリシーの関連を示し、各科目を履修することで身につく知識・能力を明らかにします。履修登録の際には、必ず「Web学生要覧」掲載の各学科「カリキュラム・マップ」を参照してください。

②「学修ポートフォリオ」について

聖学院大学では、学生の皆さんの学修状況を記録し、学修状況や学修成果を一元的に管理することができるツールとしてUNIPA「学修ポートフォリオ」を導入しています。ポートフォリオ (portfolio) は、一般的に「個人の活動を記録するもの」という意味がありますが、学修ポートフォリオは、授業の履修や学修を通じて身につけた力、課外活動などの成果などを記録することで、皆さんが自身の成長の過程を見える化し、蓄積するツールです。この記録をもとに、皆さんが自らの学びや活動を振り返り、次の目的・目標を定めることができます。

また、学修ポートフォリオは、皆さんの将来を考えるキャリアデザインの実践にも活用できるものであり、就職活動等で自身の能力や経験をアピールする際のエビデンス（根拠）となります。

学修ポートフォリオは、学修状況の確認だけではなく、UNIPA「マイステップ」から、学修状況の確認や活動状況などを入力することができます。入学してから今までの皆さんの様々な活動や、これまでの振り返り、これからの目標などを積極的に入力してください。

学修ポートフォリオの内容

①DP学修度（学部・学科において身につける知識・能力）

所属学部・学科のカリキュラムマップに基づき、DP関連項目別に各科目の成績評価と単位数から学修度を計算し、DP関連項目毎の成長度をレーダーチャートで表示しています。学期毎に計算され、単位を積み重ねることにより、レーダーチャートが大きくなります。カリキュラムマップは、Web学生要覧 (<https://seig16.seigakuin-univ.ac.jp/kyomu/yoran/>) で確認できます。

②GPS-Academic

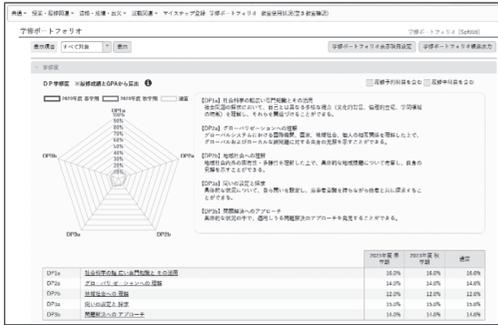
「GPS-Academic」は、大学での学びや経験はもちろん、社会で活躍するために重要視される汎用的能力「問題解決力」を測るアセスメントテストです。入学時と3年次秋学期の2回受検します。3年次に受検し、1年次の結果と比較することにより自己分析が可能で、就職活動等にも活用できます。

答えが一つではない問いに対して、協調的に問題発見・解決を行うためには、「批判的思考力」「協働的思考力」「創造的思考力」といった3つの思考力を総合的に発揮していくことが欠かせません。学生の皆さんが「これからの学生生活をどのように過ごすべきか」「今の社会で必要とされる力を今後どのように磨いていく必要があるか」を知るための指針となるもので、自分の「強み」と「弱み」を数値で確認できます。学修ポートフォリオでは、「GPS-Academic」の結果を「思考力」「姿勢・態度」「経験」に分け、レーダーチャートで表示しています。入学時と3年次の結果を比較することで、これらがどのくらい成長したかを確認することができます。

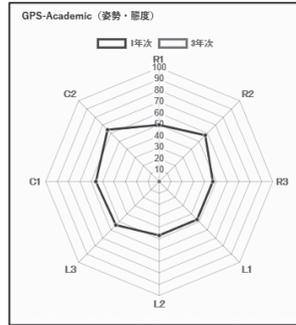
③履修成績情報、GPA推移表、単位修得状況

④その他

「入学志望動機」「学修計画書」「その他活動記録」などをマイステップから記録することができます。記録することにより、学修ポートフォリオから一覧することが可能です。



UNIPA学修ポートフォリオ



レーダーチャート

ディプロマ・サブリエメント (DS)

『ディプロマ・サブリエメント』とは、卒業(見込)証明書や成績証明書の補足資料として、皆さんが取得した資格・履修内容・能力・知識等の学修成果について対外的に可視化するためのものです。

聖学院大学では、在学中の正課外活動等への取り組み状況の他、ディプロマ・ポリシー(以下DP)に基づくDP学修度、GPS-Academic受検結果などの「定量情報」をレーダーチャートで表示し、学修成果を分かりやすく「可視化」し、『ディプロマ・サブリエメント』として発行しております。

UNIPA学修ポートフォリオ画面から各自、PDFで発行することが可能です。就職活動の際のエントリーシート作成や卒業(見込)証明書、成績証明書の補足資料として活用してください。

ディプロマ・サブリエメント